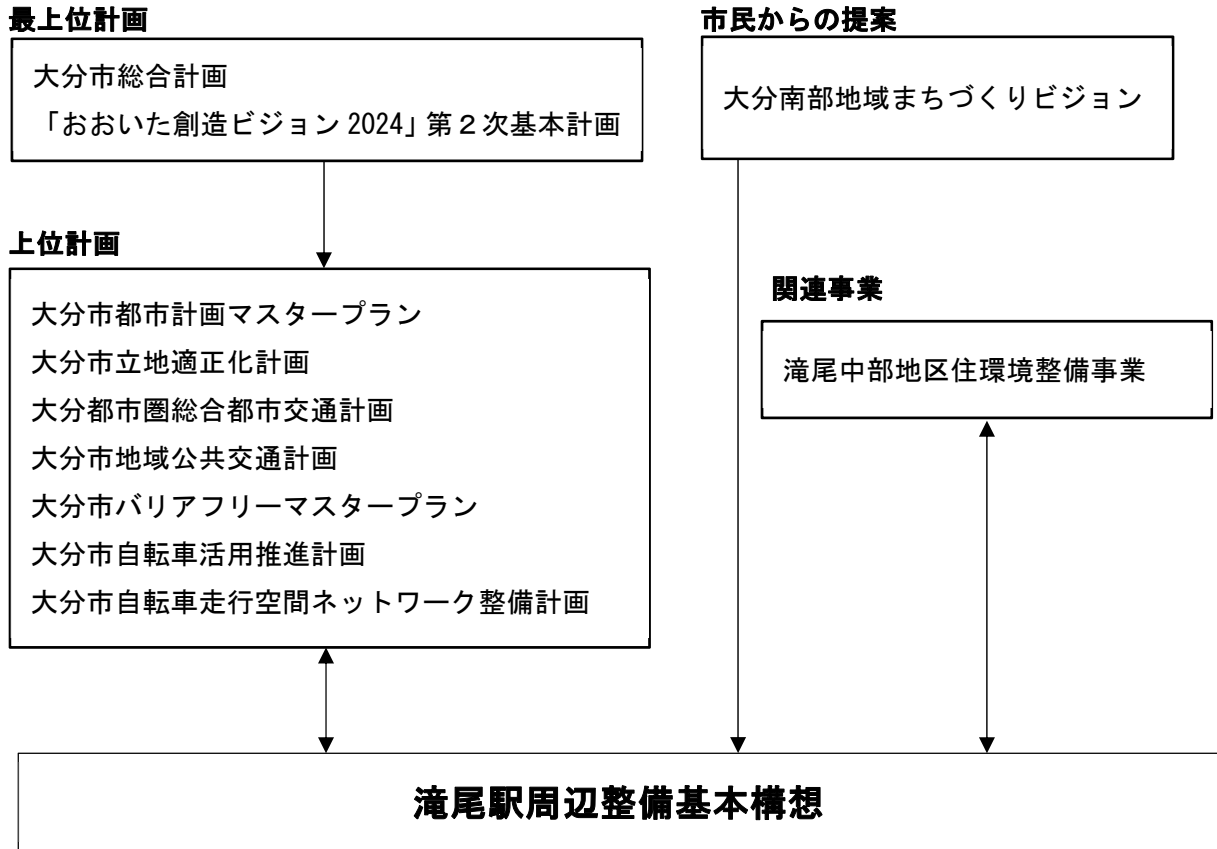


第1章 上位・関連計画及び関連事業

1. 上位・関連計画

本基本構想の策定・推進にあたって、整合が重視される主な上位計画や関連事業等の関係性は以下の通りです。



(1) 大分市総合計画「おおいた創造ビジョン 2024」第2次基本計画

策定年月	2020（令和2）年3月
計画の期間	2020（令和2）年度～2024（令和6）年度
めざすまちの姿 （都市像）	笑顔が輝き 夢と魅力あふれる 未来創造都市
基本的な政策	<ol style="list-style-type: none"> 1 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり（市民福祉の向上） 2 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり（教育・文化の振興） 3 安全・安心を身近に実感できるまちづくり（防災安全の確保） 4 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり（産業の振興） 5 将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり（都市基盤の形成） 6 自然と共生する潤い豊かなまちづくり（環境の保全）
基本計画（各論）	<p>2 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり（教育・文化の振興）</p> <p>第2章 個性豊かな文化・芸術の創造と発信</p> <p>》》 伝統的な芸能、行事の保存・継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ●伝統的に地域で受け継がれてきた民俗文化財の保存・継承に努めます。 ●伝統芸能や地域固有の行事などを通じ、地域に対する愛着をはぐくむとともに、市民相互の連携を深めて地域の活性化を図ります。
	<p>5 将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり（都市基盤の形成）</p> <p>第1章 快適な都市構造の形成と機能の充実</p> <p>第1節 計画的な市街地の形成</p> <p>》》 風格ある広域都心と暮らしやすい地区拠点の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の自然・歴史・文化などの特性を生かした個性的で魅力のある暮らしやすい地区拠点の形成を目指します。 <p>》》 計画的な土地利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●良好な市街地の形成を目指し、区画整理や住環境の整備、市街地再開発など、地域の特性に応じた事業の推進を図ります。 ●市街地の整備等に当たっては、低・未利用地の有効活用など、効率的かつ都市の健全な発展に資する土地利用を図るとともに、緑の保全や創造、景観、防災などに配慮し、周囲の環境との調和、宅地等の安全性の確保に努めます。 <p>》》 産業や生活を支える道路体系の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市域の均衡ある発展と経済・産業活動の活性化、交通渋滞の緩和などのため、道路、橋梁の拡幅や新規橋梁、休憩施設等の整備を促進します。 <p>》》 人にやさしく美しい都市空間の創造と整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や障がいのある人をはじめとするだれもが円滑に移動ができ、安全・安心に都市施設の利用ができるよう、段差の解消や点字ブロックの適正配置、無電柱化の推進などユニバーサルデザインに配慮した都市空間の整備に取り組みます。 ●災害時の延焼遮断帯や避難・輸送路、避難場所など災害に強い都市空間の整備を進めます。 ●風格のある質の高い都市景観づくりや地域の特性を生かした個性ある都

市空間形成を推進するとともに、歴史・文化・芸術を生かした観光拠点の整備を推進し、回遊性の高い、魅力的で歩いて楽しい都市を創造します。

第2節 交通体系の確立

>>> 公共交通ネットワークの構築

- 交通事業者等と連携し、各鉄道駅における駅前広場、駐車場、駐輪場などの整備をはじめ、新駅の設置、日豊本線の高速・複線化などを促進するとともに、バスやタクシーをはじめとする交通機関との乗り換えなど、交通結節機能の強化を目指します。


>>> 公共交通の利便性の向上と利用促進

- 高齢者や障がいのある人等の移動制約者や訪日外国人旅行者、来訪者等の公共交通機関を利用した移動の安全性及び利便性の向上を図るため、市民、交通事業者、行政が一体となり、ハード・ソフトの一体的な取組のもと利用環境のユニバーサルデザイン化・バリアフリー化を促進します。

>>> 自転車等利用環境の充実

- 国、県等の関係機関と連携し、連続性のある自転車走行空間の整備を進めるなど、自転車を安全・快適に利用できる環境づくりに努めます
- 駐輪場の整備やシェアサイクルの導入、自転車利用者の安全対策に関する取組を進めます。

(2) 大分市都市計画マスタープラン

策定年月	2021（令和3）年3月
目標年次	2040（令和22）年（中間年次：2030（令和12）年）
将来都市像	笑顔が輝き 夢と魅力あふれる 未来創造都市
基本理念	<ol style="list-style-type: none"> 1 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり 2 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり 3 安全・安心を身近に実感できるまちづくり 4 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり 5 将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり 6 自然と共生する潤い豊かなまちづくり
都市づくりの基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 県都にふさわしい広域都心の形成 2 広域的な交流・連携やまちづくりを支える交通体系の確立 3 ライフスタイルを豊かにする快適で安全な住環境と地区拠点を中心としたコンパクトな都市づくり 4 都市の個性と風格を醸成し集客力を高める都市の魅力創出 5 人と自然とが共生できる豊かな自然環境の保全・活用と身近な緑、水辺の再生 6 自然災害に備える防災機能の向上と危機管理体制の確立 7 産学官民が協働して参画する都市づくりの推進
将来都市構造	<p>■ 滝尾駅周辺：拠点等の設定なし、住宅市街地としての位置付け</p> <p>：住宅市街地開発事業や開発行為によって形成された住宅団地、従来からの住宅を中心とした土地利用を継承していく市街地については、地区の特性に応じた住環境の維持または改善を図ります。</p> 

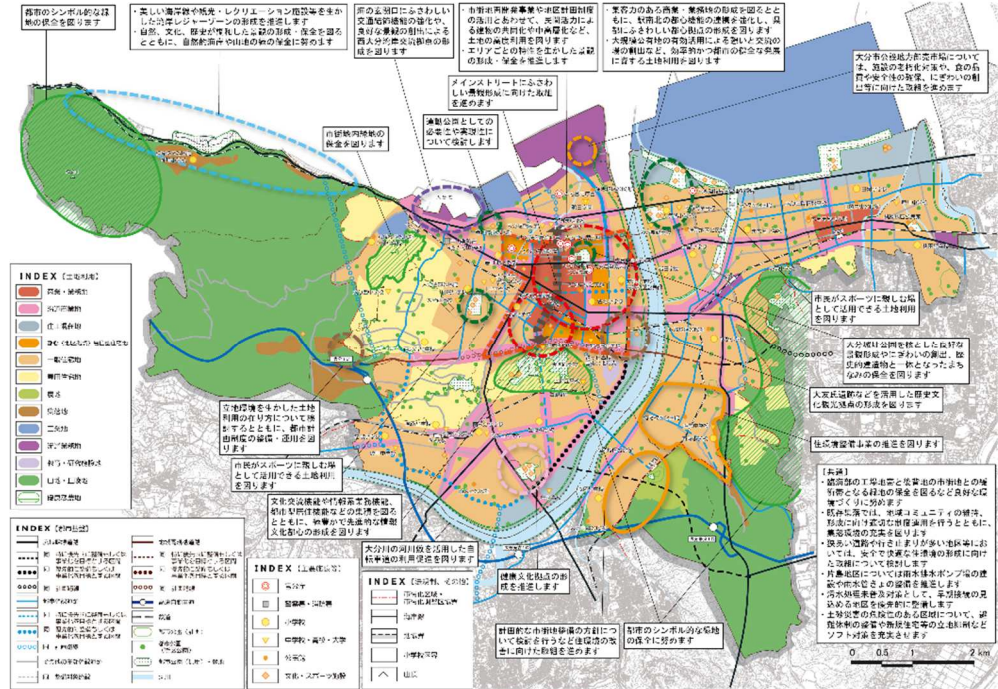
地区別構想
(大分地区)

■まちづくりの目標

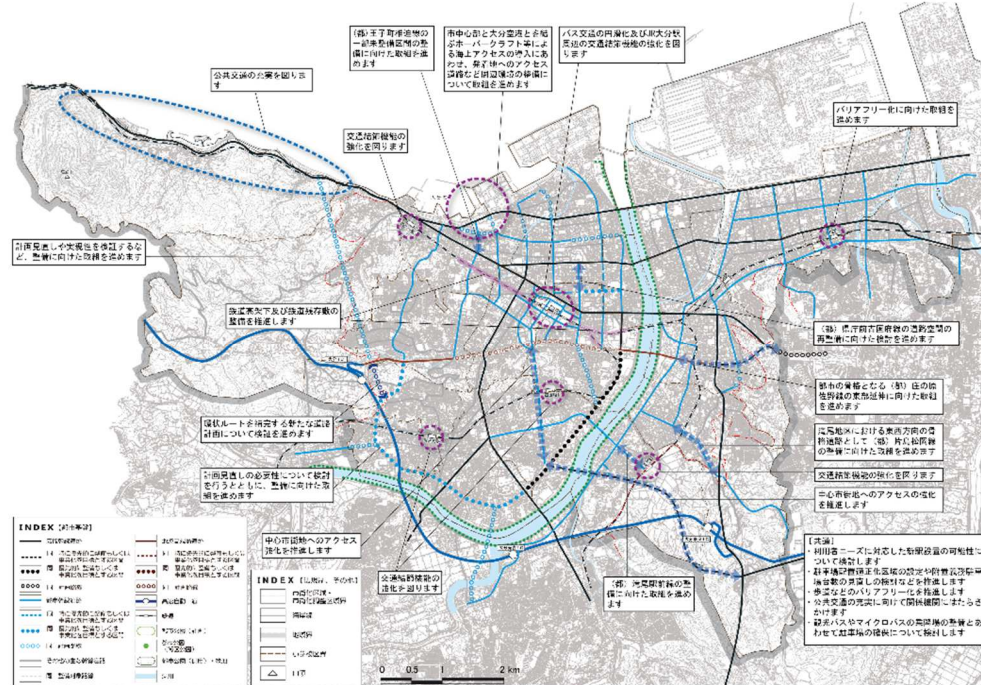
「緑あふれる広域都心の形成」

■大分地区のまちづくり方針図

《土地利用・市街地整備 環境・景観 その他》



《交通施設》



■まちづくりの方針

1. 土地利用・市街地整備

- ・滝尾地区においては、住環境整備事業の推進を図るとともに、(都)滝尾駅前線の整備推進をはじめ計画的な市街地整備の方針について検討を行うなど住環境の改善に向けた取組を進めます。
- ・狭あい道路や行き止まりが多い地区等においては、安全で快適な住環境の形成に向けた取組について検討を進めます。

2. 交通施設

- ・東九州自動車道大分 IC と市東部を結ぶ、都市の骨格となる(都)庄の原佐野線の東部延伸に向けた取組を進めます。
- ・市街地の外周を迂回し、都市の骨格となる環状道路について、計画の見直しや実現性の検証及び環状ルートを補完する新たな道路計画について検討を行うなど、国、県、市連携のもと、整備に向けた取組を進めます。
- ・中心市街地への円滑なアクセスを図るため、(都)上野丘南大分線、(都)花園細線の整備を推進します。
- ・滝尾地区における東西方向の骨格道路として、(都)片島松岡線の整備に向けた取組を進めます。
- ・JR 南大分駅、滝尾駅、西大分駅などにおいて、駅前広場やアクセス道路の整備など交通結節機能の強化を図ります。
- ・利用者ニーズに対応した新駅設置の可能性について検討します。
- ・歩道などのバリアフリー化を推進します。
- ・公共交通の充実に向けて関係機関にはたらきかけます。

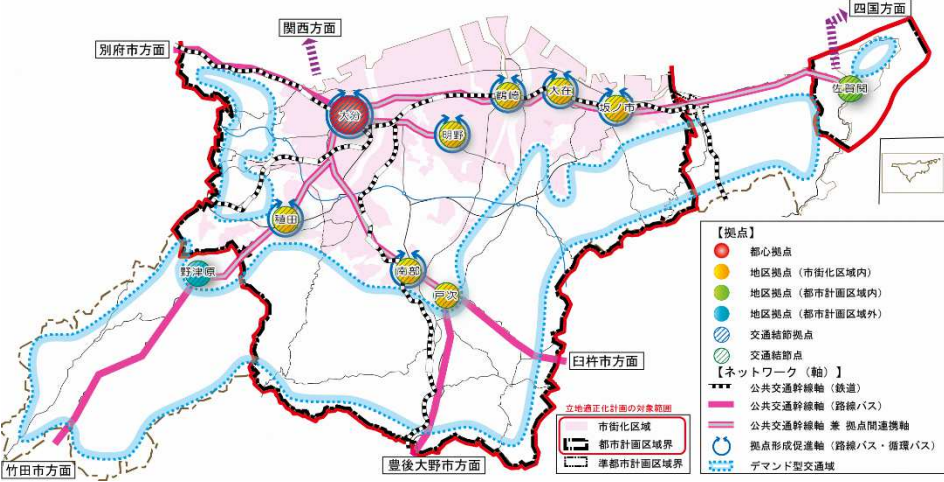
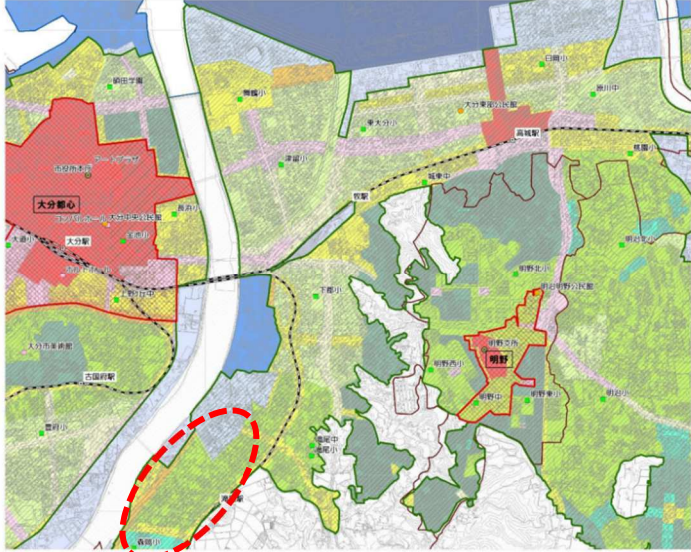
3. 環境・景観

- ・大分川の河川敷を活用した自転車道などの利用促進を図ります。


4. その他

- ・片島地区については、計画的な雨水排水ポンプ場の建設や雨水管きよの整備を推進します。
- ・汚水処理の未普及対策として、人口密度の高い地域や住民意向調査による早期接続の見込める地区を優先的に整備します。
- ・土砂災害の危険性のある区域については、避難体制の整備や新規住宅等の立地抑制などソフト対策を充実させます。

(3) 大分市立地適正化計画

<p>策定年月</p>	<p>2019（平成 31）年 3 月</p>
<p>目標年次</p>	<p>2040（令和 22）年</p>
<p>都市づくりの基本理念</p>	<p style="text-align: center;">元気・安心・快適な暮らしを支える</p> <p style="text-align: center;">将来にわたって持続可能な『多極ネットワーク型集約都市』の形成</p>
<p>都市づくりの基本方針</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 県都にふさわしい風格とにぎわいのある大分都心拠点づくり 2 地域特性を生かした個性と魅力あふれる地区拠点づくり 3 だれもが安心して暮らし続けることができる居住環境づくり 4 交流とつながりをはぐくむ公共交通ネットワークづくり
<p>目指すべき 将来都市構造イメージ</p>	 <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都心拠点 ● 地区拠点（市街化区域内） ● 地区拠点（都市計画区域内） ● 地区拠点（都市計画区域外） ● 交通結節拠点 ● 交通結節拠点 <p>【ネットワーク（軸）】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 公共交通幹線軸（鉄道） — 公共交通幹線軸（路線バス） — 公共交通幹線軸 兼 拠点間連絡軸 — 拠点形成促進軸（路線バス・循環バス） — デマンド型交通 <p>立地適正化計画の対象範囲 市街化区域 都市計画区域界 準都市計画区域界</p>
<p>誘導区域及び 誘導施設</p>	<p>■ 居住推奨区域</p>  <p>■ 誘導施設（都市機能誘導区域内において、立地を誘導すべき都市機能増進施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市機能誘導区域及び誘導施設の位置付けなし

(4) 大分都市圏総合都市交通計画

策定年月	2021（令和3）年3月																				
目標年次	2035（令和17）年																				
都市圏における交通体系の将来像	将来にわたって安心して利用でき、 地域の活力と都市圏の発展を支える交通体系																				
基本方針	1 他都市圏との活発な交流・連携を支援する広域交通体系 2 拠点集約型まちづくりを支援する持続可能な交通体系 3 安全・安心な移動により生活を支える交通体系																				
県都・大分市の将来交通体系	<p>■大分市における道路ネットワーク</p>  <p>注）短期：概ね5年程度、中期：概ね10年程度、長期：概ね10～20年程度</p> <p>■大分市における道路ネットワークに関する整備候補路線</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>路線名</th> <th>区間</th> <th>供用を目指す時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>片島松岡線</td> <td>大字片島～大字羽田 【(都)萩原鬼崎線～(都)下郡羽田線】</td> <td>短期 (完了)</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>片島松岡線</td> <td>大字羽田～大字米良 【(都)下郡羽田線～(都)下郡中判田線】</td> <td>中期</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>滝尾駅前線</td> <td>大字津守～大字津守 【滝尾駅～広瀬橋東交差点】</td> <td>中期</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>花園細線</td> <td>大字羽屋～大字片島 【国道10号～米良IC付近】</td> <td>長期</td> </tr> </tbody> </table> <p>■幹線交通網の強化策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鉄道沿線の地区拠点等との連携強化 ○鉄道駅周辺及びホーバークラフト発着地の交通結節機能強化 ○都市間交流を活性化する高速道路を活用した広域的バス運行の強化 <p>■地域内交通網の強化策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大分駅周辺におけるバスターミナルの設置及び機能の充実 ○ホーバークラフト発着地の二次交通の充実 ○地区内の回遊性を高める循環バスの導入 	No	路線名	区間	供用を目指す時期	6	片島松岡線	大字片島～大字羽田 【(都)萩原鬼崎線～(都)下郡羽田線】	短期 (完了)	15	片島松岡線	大字羽田～大字米良 【(都)下郡羽田線～(都)下郡中判田線】	中期	17	滝尾駅前線	大字津守～大字津守 【滝尾駅～広瀬橋東交差点】	中期	24	花園細線	大字羽屋～大字片島 【国道10号～米良IC付近】	長期
No	路線名	区間	供用を目指す時期																		
6	片島松岡線	大字片島～大字羽田 【(都)萩原鬼崎線～(都)下郡羽田線】	短期 (完了)																		
15	片島松岡線	大字羽田～大字米良 【(都)下郡羽田線～(都)下郡中判田線】	中期																		
17	滝尾駅前線	大字津守～大字津守 【滝尾駅～広瀬橋東交差点】	中期																		
24	花園細線	大字羽屋～大字片島 【国道10号～米良IC付近】	長期																		
大分市における地区毎の主な公共交通施策（大分地区）	<p>■幹線交通網の強化策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鉄道沿線の地区拠点等との連携強化 ○鉄道駅周辺及びホーバークラフト発着地の交通結節機能強化 ○都市間交流を活性化する高速道路を活用した広域的バス運行の強化 <p>■地域内交通網の強化策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大分駅周辺におけるバスターミナルの設置及び機能の充実 ○ホーバークラフト発着地の二次交通の充実 ○地区内の回遊性を高める循環バスの導入 																				

(5) 大分市地域公共交通計画

策定年月	2022（令和4）年3月																
目標年次	2022（令和4）年度～2026（令和8）年度																
地域公共交通の 基本理念	市民・交通事業者・行政が連携し、だれもが快適に 移動できる公共交通ネットワークの構築を目指す。																
本市における 地域公共交通の 基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 すべての人が住み慣れた場所で安心して生活できる公共交通の維持・活性化 2 風格とにぎわいのある都市拠点や地域の特性を活かした個性的で魅力ある地区拠点の形成を支える公共交通ネットワークの構築 3 利用者のニーズに合った効果的な公共交通ネットワークの構築 4 市民や来街者、だれもが分かりやすく利用しやすい公共交通の環境整備 																
目標を達成するた めに行う取組の全 体像	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">基本方針</th> <th style="background-color: #e91e63; color: white;">目 標</th> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">取組の全体像</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">(1) すべての人が住み慣れた場所で安心して生活できる公共交通の維持・活性化</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">だれもが安心して生活できる生活交通の確保</td> <td style="background-color: #e0f0ff;"> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 生活交通の確保・維持（鉄道・バス路線）、地域公共交通ネットワークのあり方検討 ◆ 乗合タクシー（ふれあい交通）の利用促進及び見直しの検討 ◆ 地域内の移動手段の調査・検討 ◆ 路線バス代替交通の運行及び見直しの検討 ◆ 新たなモビリティサービスの調査・検討（その他） ◆ 公共交通以外の輸送資源の可能性検討 ◆ 長寿応援バス事業の実施・継続・見直し </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0ffe0;">(2) 風格とにぎわいのある都市拠点や地域の特性を活かした個性的で魅力ある地区拠点の形成を支える公共交通ネットワークの構築</td> <td style="background-color: #e0ffe0;">都市拠点と地区拠点のにぎわい創出</td> <td style="background-color: #e0ffe0;"> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 中心市街地循環バス「大分きゃんバス」の運行 ◆ 中心市街地公有地利活用の調査・検討 ◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（グリーンスローモビリティ） ◆ 海上アクセスに関連する取組（MaaS等） ◆ パークアンドライドやサイクルアンドバスライド等の取組の促進 ◆ 新駅設置の可能性・役割の検討 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #fff0e0;">(3) 利用者のニーズに合った効果的な公共交通ネットワークの構築</td> <td style="background-color: #fff0e0;">公共交通利用者の維持・確保</td> <td style="background-color: #fff0e0;"> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 移動需要に応じた運行の見直し（地域旅客サービス継続事業の検討） ◆ 公共交通の連携可能性調査（地域公共交通利便増進事業の検討） ◆ 県都大分市交通円滑化検討（BRTの検討） ◆ 公共交通の利用促進に向けた取組（モビリティ・マネジメント） ◆ 広域圏の公共交通との連携強化 ◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（自動運転） </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffe0ff;">(4) 市民や来街者、だれもが分かりやすく利用しやすい公共交通の環境整備</td> <td style="background-color: #ffe0ff;">だれもが利用しやすい公共交通</td> <td style="background-color: #ffe0ff;"> <ul style="list-style-type: none"> ◆ バスロケ及びデジタルサイネージの運用 ◆ 低床バス、UD タクシーの導入促進等 ◆ 公共交通の情報発信の取組強化 ◆ 市民・来訪者の受入環境整備（観光戦略プランとの整合） ◆ バス停上屋、接続バス停の待合環境整備 </td> </tr> </tbody> </table>		基本方針	目 標	取組の全体像	(1) すべての人が住み慣れた場所で安心して生活できる公共交通の維持・活性化	だれもが安心して生活できる生活交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 生活交通の確保・維持（鉄道・バス路線）、地域公共交通ネットワークのあり方検討 ◆ 乗合タクシー（ふれあい交通）の利用促進及び見直しの検討 ◆ 地域内の移動手段の調査・検討 ◆ 路線バス代替交通の運行及び見直しの検討 ◆ 新たなモビリティサービスの調査・検討（その他） ◆ 公共交通以外の輸送資源の可能性検討 ◆ 長寿応援バス事業の実施・継続・見直し 	(2) 風格とにぎわいのある都市拠点や地域の特性を活かした個性的で魅力ある地区拠点の形成を支える公共交通ネットワークの構築	都市拠点と地区拠点のにぎわい創出	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中心市街地循環バス「大分きゃんバス」の運行 ◆ 中心市街地公有地利活用の調査・検討 ◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（グリーンスローモビリティ） ◆ 海上アクセスに関連する取組（MaaS等） ◆ パークアンドライドやサイクルアンドバスライド等の取組の促進 ◆ 新駅設置の可能性・役割の検討 	(3) 利用者のニーズに合った効果的な公共交通ネットワークの構築	公共交通利用者の維持・確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 移動需要に応じた運行の見直し（地域旅客サービス継続事業の検討） ◆ 公共交通の連携可能性調査（地域公共交通利便増進事業の検討） ◆ 県都大分市交通円滑化検討（BRTの検討） ◆ 公共交通の利用促進に向けた取組（モビリティ・マネジメント） ◆ 広域圏の公共交通との連携強化 ◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（自動運転） 	(4) 市民や来街者、だれもが分かりやすく利用しやすい公共交通の環境整備	だれもが利用しやすい公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ◆ バスロケ及びデジタルサイネージの運用 ◆ 低床バス、UD タクシーの導入促進等 ◆ 公共交通の情報発信の取組強化 ◆ 市民・来訪者の受入環境整備（観光戦略プランとの整合） ◆ バス停上屋、接続バス停の待合環境整備
基本方針	目 標	取組の全体像															
(1) すべての人が住み慣れた場所で安心して生活できる公共交通の維持・活性化	だれもが安心して生活できる生活交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 生活交通の確保・維持（鉄道・バス路線）、地域公共交通ネットワークのあり方検討 ◆ 乗合タクシー（ふれあい交通）の利用促進及び見直しの検討 ◆ 地域内の移動手段の調査・検討 ◆ 路線バス代替交通の運行及び見直しの検討 ◆ 新たなモビリティサービスの調査・検討（その他） ◆ 公共交通以外の輸送資源の可能性検討 ◆ 長寿応援バス事業の実施・継続・見直し 															
(2) 風格とにぎわいのある都市拠点や地域の特性を活かした個性的で魅力ある地区拠点の形成を支える公共交通ネットワークの構築	都市拠点と地区拠点のにぎわい創出	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中心市街地循環バス「大分きゃんバス」の運行 ◆ 中心市街地公有地利活用の調査・検討 ◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（グリーンスローモビリティ） ◆ 海上アクセスに関連する取組（MaaS等） ◆ パークアンドライドやサイクルアンドバスライド等の取組の促進 ◆ 新駅設置の可能性・役割の検討 															
(3) 利用者のニーズに合った効果的な公共交通ネットワークの構築	公共交通利用者の維持・確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 移動需要に応じた運行の見直し（地域旅客サービス継続事業の検討） ◆ 公共交通の連携可能性調査（地域公共交通利便増進事業の検討） ◆ 県都大分市交通円滑化検討（BRTの検討） ◆ 公共交通の利用促進に向けた取組（モビリティ・マネジメント） ◆ 広域圏の公共交通との連携強化 ◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（自動運転） 															
(4) 市民や来街者、だれもが分かりやすく利用しやすい公共交通の環境整備	だれもが利用しやすい公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ◆ バスロケ及びデジタルサイネージの運用 ◆ 低床バス、UD タクシーの導入促進等 ◆ 公共交通の情報発信の取組強化 ◆ 市民・来訪者の受入環境整備（観光戦略プランとの整合） ◆ バス停上屋、接続バス停の待合環境整備 															

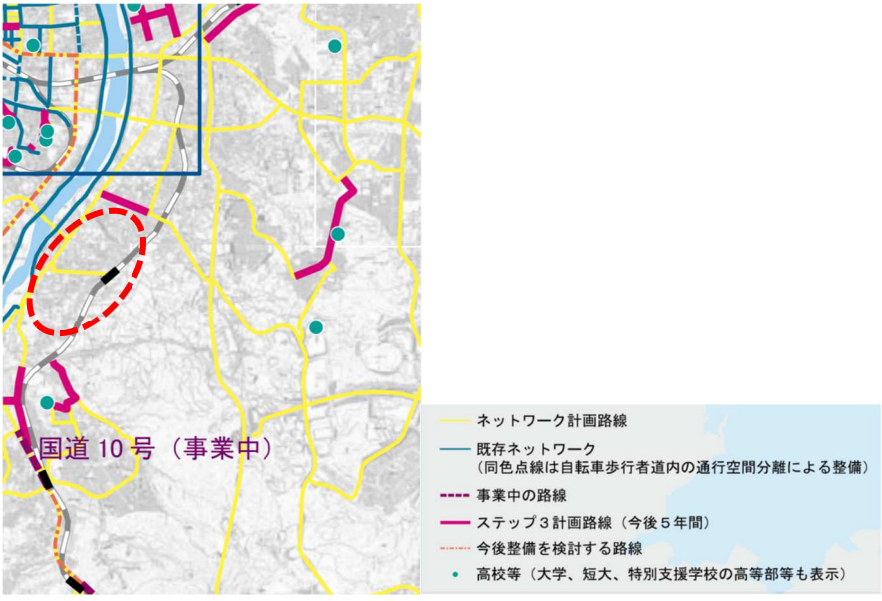
(6) 大分市バリアフリーマスタープラン

策定年月	2020（令和2）年4月
目標年次	2020（令和2）年度～2024（令和6）年度
基本理念	だれもが 自由に どこへでも 豊かさあふれる 大分市
基本方針	<ol style="list-style-type: none">1 バリアフリー・ユニバーサルデザインを基本としたまちづくりの大分市全域への拡大2 誰もが円滑に移動できるバリアフリー環境の形成強化3 市民・事業者・行政の協働による住民参加の取組4 継続的なバリアフリー化の進行管理と検証5 心のバリアフリーの推進6 計画立案から周知へ、バリアフリーの普及・啓発活動の推進

(7) 大分市自転車活用推進計画

<p>策定年月</p>	<p>2020（令和2）年4月</p>																												
<p>計画期間</p>	<p>2020（令和2）年度～2024（令和6）年度</p>																												
<p>基本方針</p>	<p>バイシクルフレンドリータウン ～自転車が似合うまち～の創造</p>																												
<p>施策の体系</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="528 432 635 465"> <p>目標1</p> </td> <td data-bbox="635 432 1377 465"> <p>自転車で 便利で快適、きれいなまち おおいた</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 465 635 539"> <p>1. 安全で快適な自転車通行空間づくり</p> </td> <td data-bbox="635 465 1377 539"> <p>(1) 「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画」の推進 (2) 自転車通行空間を確保するための取組 (3) 自転車案内サイン整備の推進</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 539 635 636"> <p>2. 便利で適切に利用される駐輪環境づくり</p> </td> <td data-bbox="635 539 1377 636"> <p>(1) 「大分市自転車等駐車場整備計画」の推進 (2) 附置義務による民間駐輪場の確保 (3) 放置自転車対策の推進 (4) 自転車盗難対策の推進</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 636 635 732"> <p>3. 交通施策と連動した便利で多様な仕組みづくり</p> </td> <td data-bbox="635 636 1377 732"> <p>(1) シェアサイクル事業の推進 (2) サイクルアンドライドの促進 (3) 将来的なMaaS導入を見据えた自転車利用環境の構築 (4) IoT等の活用</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 732 635 766"> <p>目標2</p> </td> <td data-bbox="635 732 1377 766"> <p>自転車で 心と体が元気になるまち おおいた</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 766 635 840"> <p>4. 情報発信等による自転車利用の促進</p> </td> <td data-bbox="635 766 1377 840"> <p>(1) 自転車の魅力の発信 (2) 自転車通勤の促進</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 840 635 913"> <p>5. サイクルスポーツの普及促進</p> </td> <td data-bbox="635 840 1377 913"> <p>(1) サイクルスポーツに親しむ機会の創出 (2) 多様な自転車を楽しめる環境づくり</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 913 635 947"> <p>目標3</p> </td> <td data-bbox="635 913 1377 947"> <p>自転車で たくさん魅力が見えるまち・魅力をつなげるまち おおいた</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 947 635 1021"> <p>6. 自転車を活かした観光・地域振興の推進</p> </td> <td data-bbox="635 947 1377 1021"> <p>(1) 市民参加・体験型のサイクリングイベント等の実施 (2) 観光地における自転車利用環境の充実 (3) 自転車マップの充実</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 1021 635 1095"> <p>7. サイクルツーリズムの推進</p> </td> <td data-bbox="635 1021 1377 1095"> <p>(1) 市域を超えたサイクリングイベントの開催 (2) サイクリングの拠点づくり (3) 広域サイクリングルートの構築</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 1095 635 1128"> <p>目標4</p> </td> <td data-bbox="635 1095 1377 1128"> <p>自転車に みんなが正しく乗れる安全・安心なまち おおいた</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 1128 635 1202"> <p>8. 安全な自転車等の普及促進</p> </td> <td data-bbox="635 1128 1377 1202"> <p>(1) 安全基準に適合した自転車購入の促進 (2) 自転車の点検整備の促進 (3) 自転車損害賠償責任保険の加入促進</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 1202 635 1276"> <p>9. 自転車ルール・マナーの啓発</p> </td> <td data-bbox="635 1202 1377 1276"> <p>(1) 自転車安全利用五則の周知 (2) 世代に応じた自転車ルール・マナーの啓発 (3) 自転車ヘルメット着用の促進 (4) 通学路等の安全の確保</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 1276 635 1350"> <p>10. 災害時の自転車活用方策の検討</p> </td> <td data-bbox="635 1276 1377 1350"> <p>(1) 災害時に備えた市職員の自転車利用の促進 (2) 災害発生時における放置自転車等の活用 (3) 災害発生時におけるシェアサイクルの活用</p> </td> </tr> </table>	<p>目標1</p>	<p>自転車で 便利で快適、きれいなまち おおいた</p>	<p>1. 安全で快適な自転車通行空間づくり</p>	<p>(1) 「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画」の推進 (2) 自転車通行空間を確保するための取組 (3) 自転車案内サイン整備の推進</p>	<p>2. 便利で適切に利用される駐輪環境づくり</p>	<p>(1) 「大分市自転車等駐車場整備計画」の推進 (2) 附置義務による民間駐輪場の確保 (3) 放置自転車対策の推進 (4) 自転車盗難対策の推進</p>	<p>3. 交通施策と連動した便利で多様な仕組みづくり</p>	<p>(1) シェアサイクル事業の推進 (2) サイクルアンドライドの促進 (3) 将来的なMaaS導入を見据えた自転車利用環境の構築 (4) IoT等の活用</p>	<p>目標2</p>	<p>自転車で 心と体が元気になるまち おおいた</p>	<p>4. 情報発信等による自転車利用の促進</p>	<p>(1) 自転車の魅力の発信 (2) 自転車通勤の促進</p>	<p>5. サイクルスポーツの普及促進</p>	<p>(1) サイクルスポーツに親しむ機会の創出 (2) 多様な自転車を楽しめる環境づくり</p>	<p>目標3</p>	<p>自転車で たくさん魅力が見えるまち・魅力をつなげるまち おおいた</p>	<p>6. 自転車を活かした観光・地域振興の推進</p>	<p>(1) 市民参加・体験型のサイクリングイベント等の実施 (2) 観光地における自転車利用環境の充実 (3) 自転車マップの充実</p>	<p>7. サイクルツーリズムの推進</p>	<p>(1) 市域を超えたサイクリングイベントの開催 (2) サイクリングの拠点づくり (3) 広域サイクリングルートの構築</p>	<p>目標4</p>	<p>自転車に みんなが正しく乗れる安全・安心なまち おおいた</p>	<p>8. 安全な自転車等の普及促進</p>	<p>(1) 安全基準に適合した自転車購入の促進 (2) 自転車の点検整備の促進 (3) 自転車損害賠償責任保険の加入促進</p>	<p>9. 自転車ルール・マナーの啓発</p>	<p>(1) 自転車安全利用五則の周知 (2) 世代に応じた自転車ルール・マナーの啓発 (3) 自転車ヘルメット着用の促進 (4) 通学路等の安全の確保</p>	<p>10. 災害時の自転車活用方策の検討</p>	<p>(1) 災害時に備えた市職員の自転車利用の促進 (2) 災害発生時における放置自転車等の活用 (3) 災害発生時におけるシェアサイクルの活用</p>
<p>目標1</p>	<p>自転車で 便利で快適、きれいなまち おおいた</p>																												
<p>1. 安全で快適な自転車通行空間づくり</p>	<p>(1) 「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画」の推進 (2) 自転車通行空間を確保するための取組 (3) 自転車案内サイン整備の推進</p>																												
<p>2. 便利で適切に利用される駐輪環境づくり</p>	<p>(1) 「大分市自転車等駐車場整備計画」の推進 (2) 附置義務による民間駐輪場の確保 (3) 放置自転車対策の推進 (4) 自転車盗難対策の推進</p>																												
<p>3. 交通施策と連動した便利で多様な仕組みづくり</p>	<p>(1) シェアサイクル事業の推進 (2) サイクルアンドライドの促進 (3) 将来的なMaaS導入を見据えた自転車利用環境の構築 (4) IoT等の活用</p>																												
<p>目標2</p>	<p>自転車で 心と体が元気になるまち おおいた</p>																												
<p>4. 情報発信等による自転車利用の促進</p>	<p>(1) 自転車の魅力の発信 (2) 自転車通勤の促進</p>																												
<p>5. サイクルスポーツの普及促進</p>	<p>(1) サイクルスポーツに親しむ機会の創出 (2) 多様な自転車を楽しめる環境づくり</p>																												
<p>目標3</p>	<p>自転車で たくさん魅力が見えるまち・魅力をつなげるまち おおいた</p>																												
<p>6. 自転車を活かした観光・地域振興の推進</p>	<p>(1) 市民参加・体験型のサイクリングイベント等の実施 (2) 観光地における自転車利用環境の充実 (3) 自転車マップの充実</p>																												
<p>7. サイクルツーリズムの推進</p>	<p>(1) 市域を超えたサイクリングイベントの開催 (2) サイクリングの拠点づくり (3) 広域サイクリングルートの構築</p>																												
<p>目標4</p>	<p>自転車に みんなが正しく乗れる安全・安心なまち おおいた</p>																												
<p>8. 安全な自転車等の普及促進</p>	<p>(1) 安全基準に適合した自転車購入の促進 (2) 自転車の点検整備の促進 (3) 自転車損害賠償責任保険の加入促進</p>																												
<p>9. 自転車ルール・マナーの啓発</p>	<p>(1) 自転車安全利用五則の周知 (2) 世代に応じた自転車ルール・マナーの啓発 (3) 自転車ヘルメット着用の促進 (4) 通学路等の安全の確保</p>																												
<p>10. 災害時の自転車活用方策の検討</p>	<p>(1) 災害時に備えた市職員の自転車利用の促進 (2) 災害発生時における放置自転車等の活用 (3) 災害発生時におけるシェアサイクルの活用</p>																												
<p>具体的な取組 1 安全で快適な自転車通行空間づくり</p>	<p>(1) 「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画」の推進</p> <p>■ネットワーク路線</p>  <p>— 既存ネットワーク路線（平成27年度以前に整備） — 整備済みネットワーク路線（平成28年度～令和元年度に整備） — ネットワーク計画路線 ● 高校等（大学、短大、特別支援学校の高等部等も表示） ※点線は自転車歩行者道内の通行空間分画による整備</p>																												

(8) 大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画

<p>策定年月</p>	<p>2021（令和3）年3月</p>
<p>計画期間</p>	<p>2021（令和3）年度～2025（令和7）年度</p>
<p>基本方針</p>	<p>ハード施策の基本方針 :「安全で快適な自転車通行空間づくり」 ソフト施策の基本方針 :「安全な自転車等の普及促進」「自転車ルール・マナーの啓発」</p>
<p>施策の体系</p>	<p>■ハード施策とソフト施策の基本的な考え方</p> <p>ハード施策の基本的な考え方</p> <p>＜ネットワークの早期実現＞</p> <p>○新規整備を行う道路については、自転車通行空間整備の検討を行う。 既存道路への自転車ネットワーク整備は課題が多く、時間がかかるのはやむを得ないが、新規整備を行う道路において自転車通行空間の確保を積極的に推進することで、自転車ネットワークの早期実現を目指す。</p> <p>＜整備形態の選定＞</p> <p>○自転車は車道の左側を通行するという原則に沿った自転車通行空間の整備を行う。 車両である自転車は車道の左側を走るといった原則に沿った、自転車道、自転車通行帯、車道混在の3つの整備形態を基本として自転車通行空間の整備を推進する。やむを得ず自転車歩行者道内での歩行者と自転車の分離を行う場合は、自転車ネットワークの暫定的な整備形態と位置付ける。</p> <p>ソフト施策の基本的な考え方</p> <p>＜ルール・マナーの実践＞</p> <p>○自転車は車道の左側を通行するという原則に沿った道路利用を促す。 自転車通行空間を整備するだけでは、すべての人が正しく利用するとは限らず、逆走などが発生して危険な場合があることから、様々なソフト施策の推進により、車両である自転車は車道の左側を走るといった原則や歩道走行時のルール等を市民に広く認知させるとともに、実践につなげることを目指す。</p> <p>＜お互いに配慮する市民意識（思いやり）の醸成＞</p> <p>○すべての道路利用者がお互いに配慮する意識づくりを目指す。 自転車通行空間が未整備の道路においても、歩行者、自転車、自動車のすべての道路空間利用者が自転車のルール・マナーについて理解し、お互いに配慮する市民意識（思いやり）を持つことを目指す。</p>
<p>ネットワーク計画</p>	<p>■ネットワーク計画図</p>  <p>— ネットワーク計画路線 — 既存ネットワーク (同色点線は自転車歩行者道内の通行空間分離による整備) --- 事業中の路線 — ステップ3計画路線（今後5年間） - - - 今後整備を検討する路線 ● 高校等（大学、短大、特別支援学校の高等部等も表示）</p> <p>国道10号（事業中）</p>

(9) 大分南部地域まちづくりビジョン

策定年月	2018（平成30）年7月		
大分南部地域の将来像	自然豊かな温故知新を体感できるまち		
市長への提言	提言1 住み続けたい、帰ってきたい地域づくり 提言2 地域の歴史的・文化的遺産などを活かした地域交流の充実 提言3 災害に備えた取組の推進		
提言に基づく提案事業 (本地区に関わる提言 を抜粋)	■将来像の実現に向けた取組（事業案）一覧		
	提言	概要	
	1	子育てしやすい住環境の整備	地域内の道路が狭く、通学路を通り抜ける車も多いため危険です。また、地域に子どもが少なくなっており、地域活性化と住環境の改善が必要であることから、道路、駅、公園などの整備を行う。
		JRの線路を利用して富山方式の路面電車を走らせる	大分駅から大分大学駅の間に、3～400m間隔で新駅を設置し、路面電車を走らせることで観光客を集めることができ、高齢者にも優しい公共交通となります。
		滝尾駅前の広い空地を活用	滝尾駅北西の空地を有効活用できるようにしてほしい。市からもJRに働きかけをしてほしい。
		利便性に富んだ街づくり	曲などの地区内の狭い抜け道を通る車が多く危険なため、バイパス道路を整備する。
2	豊富な歴史を活かした旧跡めぐりサポーターの育成	南部地域の豊富な歴史資源を活用するため、百穴や曲石仏などの地域の歴史を伝える旧跡めぐり子どもサポーターを育成する。郷土愛の醸成につながり、歴史探索などで多世代が交流でき、子育てサークルなども楽しめる機会の創出につながる。	
	子育てサロン・地域ふれあいサロンなど未来へつなぐコミュニティの充実・拡充	開催回数の増加や対象者、対象地域の拡大など、子育て世代もそれ以外の人もいきいきと交流しやすい環境の整備を行う。	
3	児童と高齢者が安全に避難できる避難設備（インフラ）の整備	避難拠点となる避難所などへの周辺道路の幅員確保などの整備を行う。緊急車両が入れない道路の拡幅、排水路整備など安全安心に資する整備を行う。	
	安全・安心な地域づくり	昨年の台風18号により地域内では床下浸水が発生したこともあり、防災に役立つ情報を地域の人たちで共有するとともに、防災人材の育成などにより、防災意識の向上に役立てる。	

2. 関連事業

本地区では、上位・関連計画等に基づき、既に様々な関連事業が実施されています。
ここでは、現在進行中の主な関連事業を紹介します。

1) 滝尾中部地区住環境整備事業

本地区は、幹線道路と呼べる道路がなく円滑な交通体系が形成されていないことや、狭い生活道路が多いことから、災害時における緊急車両の進入困難等の防災上の不備および歩行者の安全確保が懸念されていました。このため住環境整備事業を行うことにより、緊急車両の進入経路や歩行者空間を確保し、安全・安心なまちづくりを推進しています。現在（都）片島松岡線（辻堂交差点～米良バイパス間）の整備に着手しており、主に用地買収を行っています。

- ・事業期間 平成29年度～令和15年度
- ・整備概要 都市計画道路：片島松岡線 全長=1,088メートル、幅員=18～25メートル

■整備位置図

